

# 地域の魅力再発見！ @ 福田地区



みんなで歩こう

みんなで探そう



## 平田の 妙見社

地震により倒壊して  
しまった妙見社。  
脇には解体  
した社が。

12月24日、熊本大学ましきラボ&(仮)福田地区まちづくり勉強会が企画した「熊大生と歩く地域の魅力再発見！@福田地区」が開催されました。

当日は熊本大学の学生のほか、約30人が町内外から参加し、田中尚人准教授(熊本大学 政策創造研究教育センター)主導のもと、畑中、田中、平田地区へ「魅力再発見」の旅に出ました。

始めに、畑中から田中地区を散策。「町立第五保育所」を見学し、未だ保育所として再開できていない、同所の被災状況を確認しました。その後、平田地区にある寿徳寺までの道を歩きながら、年中たわわに果実が実る果樹園などを見学しました。寺に到着すると、まず最初に出迎えてくれたのは、なんと樹齢100年のイチョウの大木！その圧倒的な迫力に、参加者たちもしばらく立ちつくしてしまいました。

鐘は落ち、灯籠は崩れていましたが、地域の人々の声に応じて一生懸命日々の活動にいそしんでおられる河辺裕司住職から、震災直後の被害の状況や、現在の状況について説明を聞くことができました。

帰りには、倒壊してしまった平田の妙見社を訪れ、地元の住民から説明を受けました。妙見社は“明見社”とも書き、五穀豊穰を願う神を祭る社でもありました。

途中、木山川や川沿いの田園風景も美しく、地元の人々さえも改めて実感する「魅力再発見の旅」となりました。

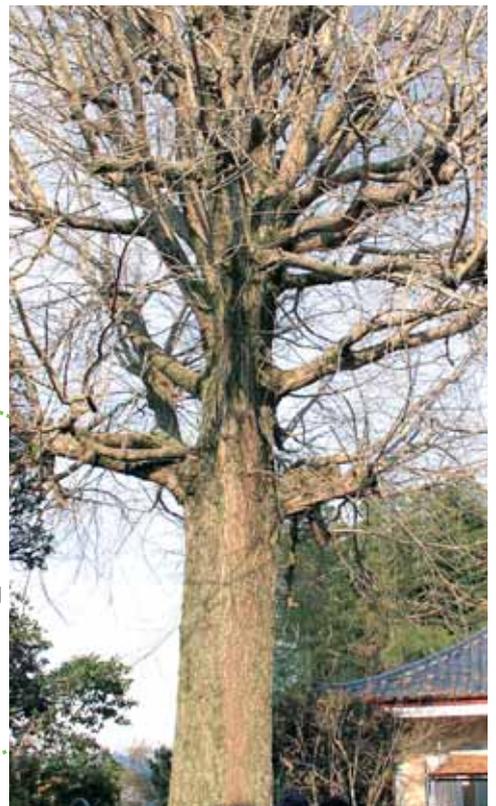
地元に住む参加者からは、「初めて知ることもあり、新鮮な気持ちになった」という声も聞こえました。

## 寿徳寺

【上】境内にあるイチョウ。  
樹齢100年。

【右】被害状況などを説明する河辺住職(右)。

【左】石段の下から見る寿徳寺。



## 美しい 自然のすがた

都市圏から近いにもかかわらず、益城にはまだまだこんなに美しい景色が残っています。

